



平成 23 年 10 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 柿安本店
代表者の役職・氏名 代表取締役社長
赤塚保正
(JASDAQ コード番号 2294)
問合せ先 専務取締役管理本部長
赤塚義弘
TEL 0594-23-5500

平成 24 年 2 月期 第 2 四半期業績予想値と実績値との差異及び 通期業績予想の修正、並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 4 月 14 日に公表した平成 24 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)の業績予想値と本日公表の同実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 2 月期(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)の通期業績予想並びに期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 2 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異

(平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	20,082	577	576	115	円 銭 9.26
今回実績値(B)	20,151	1,043	1,047	338	27.22
増減額(B-A)	69	465	471	223	—
増減率(%)	0.3	80.5	81.8	194.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 2 月期第 2 四半期)	19,328	619	626	278	22.40

(参考) 平成 24 年 2 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想値と実績値との差異

(平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	18,986	446	487	74	円 銭 6.00
今回実績値(B)	18,987	839	873	254	20.47
増減額(B-A)	1	392	386	180	—
増減率(%)	0.0	87.9	79.2	241.1	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 2 月期第 2 四半期)	18,185	562	600	278	22.34

2. 平成 24 年 2 月期 通期連結業績予想値の修正

(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	41,862	1,850	1,850	762	61.24
今回修正予想 (B)	41,834	2,492	2,500	992	79.72
増減額 (B－A)	△27	642	650	229	—
増減率 (%)	△0.1	34.7	35.1	30.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	40,521	1,802	1,822	743	59.72

(参考) 平成 24 年 2 月期 通期個別業績予想値の修正

(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	39,693	1,600	1,684	682	54.80
今回修正予想 (B)	39,570	2,133	2,210	851	68.40
増減額 (B－A)	△123	533	526	169	—
増減率 (%)	△0.3	33.3	31.3	24.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	38,309	1,636	1,716	733	58.90

3. 差異及び修正の理由

(売上高)

3 月に発生した東日本大震災とその直後の関東エリアにおける計画停電により、店舗の一時的な営業休止、時間短縮を余儀なくされたものの、営業再開に合わせた集客企画の投入や、影響を大きく受けなかった中部・関西エリアの営業活動を強化し、4 月以降の急速な回復により大震災の影響を払拭することが出来ました。しかしながら、7 月に入り、放射性セシウムに汚染された肉牛が発見され、これにより、当社精肉店舗や牛肉しぐれ煮をはじめとする牛肉関連商品に大きな影響を受けております。当社では、放射性物質の検査機器を 8 月 12 日より稼働させるなど、自主検査体制を確立いたしましたでしたが、消費者の不安はすぐには解消されず、収束には相当の期間を要するものと捉えております。

そのため、自主検査体制の拡充・強化とあわせ、当社商品の安全性を積極的に発信することにより、牛肉関連売上への一刻も早い回復を目指すとともに、新商品「豚めし」弁当など、牛肉以外の商品開発・拡販の他、好調に推移しております和菓子部門、レストラン部門の更なる営業強化を図ってまいります。

(利益)

売上高は、東日本大震災、放射性セシウム汚染肉牛と極めて大きなマイナス要因が連続して発生しているものの、前述の施策により概ね前回予想に沿ったものになっている事に加え、シフト管理の徹底や、経費支出の見直し、前期出店店舗のフル稼働寄与により、営業利益、経常利益、当期純利益とも、前回予想を上回るものとなりました。

4. 配当予想の修正

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置づけ、利益配分につきましては将来の事業展開や経営環境の変化に対応するため、内部留保に留意しつつ、安定的な配当を行う事を念頭に置き、業績に応じて総合的に決定することを基本方針としております。

今後におきましても、同基本方針を維持する方針であります。本年 11 月をもって、創業 140 周年を迎えられることに感謝の意を表すとともに、平成 24 年 2 月期の業績も前述の業績予想の修正のとおり、堅調な見通しであることから、株主の皆様に対する利益還元重視の姿勢をより明確にするため、当期の年間配当金の予想を修正することといたしました。

下記の通り、平成 24 年 2 月期の 1 株当たり期末配当金は、普通株式 30 円、記念配当 5 円、あわせて 35 円となる見込みであります。

なお、本件については、平成 24 年 5 月開催予定の第 44 期定時株主総会に付議する予定であります。

	年 間 配 当 金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 23 年 4 月 14 日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 28.00
今回修正予想	—	0.00	—	普通配当 30.00 記念配当 5.00 合 計 35.00	普通配当 30.00 記念配当 5.00 合 計 35.00
当期実績	—	0.00			
前期実績 (平成 23 年 2 月期)実績	—	0.00	—	28.00	28.00

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上